



笹っ子のよき伝統に

副校長 高浜 正太郎

梅雨に入り、曇り空や雨の降り続く天候が続いています。公園や校庭に咲いているアジサイの花も日に日に色濃くなっています。また、学年ごとに育てている植物もぐんぐん生長しています。じめじめとした梅雨らしい天気ではありますが、改めて植物にとっては大切な季節であることを感じさせられます。時折見られる夏の強い日差しの日には水泳学習が行われ、子どもたちはそれぞれにめあてをもち、楽しそうにプールで学習しています。

さて、今年度も宿泊体験学習や社会科見学等、学年ごとに校外学習が予定されています。すでに、1・2年生が生活科の時間に公園めぐり、3年生は社会科の時間に町探検をしています。このような校外学習では、実際に出かけて見たり聞いたりするなど体験することによって学習がさらに深まります。そのために、それぞれの教科・領域に沿った目標やねらいが設定されていて、子どもたちはめあて達成に向けて活動していきます。しかし、どの校外学習にも共通した目標設定があり、それが「集団行動を身につける」こととなっています。公共交通機関を利用する際のマナーや施設の見学時の留意点、話の聞き方や挨拶等、集団行動の中では他の人に迷惑をかけないように心がけなければならないことが多々あります。私もこの2年間で、愛川や三浦への宿泊体験学習、遠足・社会科見学など校外学習の引率をしましたが、話の聞き方や電車の中での過ごし方、歩き方、施設見学の様子を見てみると、どの子も約束を守り、意識しながら行動できていることにとても感心しました。1・2年生の子どもたちと新井町公園に行ったときに、公園の愛護会の方から「笹山小学校の子どもは毎年話を聞く態度がすばらしいです。」とお褒めの言葉をいただきました。一人ひとりの行動が学年全体の行動に生かされて、それが全学年に波及したときによき伝統となって受け継がれていくことでしょう。

また、6月8日(水)に行われたスクールゾーン安全対策協議会では、校外委員の皆様を中心に、町内会長・自治会長の皆様をはじめ、地域の皆様を交えて通学路の危険箇所について協議を進め、警察署や土木事務所、区役所とともに改善策について検討することができました。協議会の中で検討された内容につきましては、PTA校外委員会よりお知らせが配付されていますので、ご覧ください。校外委員の皆様には、情報収集から調査、当日の運営に至るまでご尽力いただきまして、本当にありがとうございました。

この協議会の中で、地域の方から「通学路では、人は右側、車は左側のルールを笹山小学校の子どもたちに守ってほしい」というご意見が出ました。特に正門前の坂道からの通学路は道幅が狭く、横に並んで歩いていると車が通過するときにとっても危険です。下校時には安全パトロールの皆様に見守っていただいておりますが、登下校時に限らず、交通ルールを守り、安全に行動できることも笹っ子のよき伝統となるように、職員一同、指導してまいります。

7月に入ると、夏休みに向けて学習や生活のまとめを行う時期となります。各ご家庭や地域の中で子どもたちが有意義な夏休みを過ごすことができるよう引き続きご協力お願いいたします。

